

SDGsをもっと身近に感じてもらうため、「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介します。



図 SDGs 推進室 (内線 421)

株式会社 ROBOZ  
(上矢作町) <https://roboz.co.jp>

「未来は今! ROBOZ」をテーマに、ドローンを通じて恵那を盛り上げていきます。ドローンパイロット養成スクールやドローン機体開発、体験イベント、インドアドローンショー事業を行っています。

SDGsの取り組み

新型ドローンを開発中

さまざまな用途に応じたドローンの開発に向け、他業種の事業者と連携し、上矢作グラウンドで実証実験をしています。現在は、三菱重工業㈱と共同で、新型ドローンを開発しています。



地域課題解決のための授業

恵那南高等学校、上矢作小・中学校を始めとする県内の中学校や高校で授業を行い、ドローンを活用した地域課題を解決しようと、生徒たちと一緒に考えています。



関連するSDGsの目標



放課後子ども教室

異年齢の子や、地域の人との交流の場



▲放課後子ども教室

みんなは、放課後子ども教室って知ってる？各小学校の児童が地域の人と一緒に、放課後の小学校やコミセンなどで運動や音楽遊び、工作などの活動をする教室のことだよ。

今日は大井第二小学校の「にこにこクラブ」のみんなが、お正月に欠かせないしめ縄を作っている。聞いて、遊びに行ってきたよ。藁をねじって縄にするのは、難しい作業だけど、地域の人や先生になって教えてくれるから簡単にできちゃった。実はこの藁、地域の人たちが青田刈りをして準備してくれていたものなんだって。すごくいい匂いがしたよ。縄ができたら、松の葉や稲穂、紙垂、水引、折り紙で作った飾りをボン



▲集中して作るよ



図 生涯学習課 (内線 474)

▲無事に完成したんだナ

で付けて完成。付ける飾りにも個性が出て、世界に一つだけのしめ縄になったんだナ！  
放課後子ども教室は、年間を通していろいろな活動をしているよ。違う学年の子と友達になったり、地域の人と一緒に活動したり、たくさんの交流ができるんだ。毎年4月に小学校で申し込み用紙が配られるけど、途中から参加することもできるみたい。たくさんの子が参加してくれるとうれしいナ。詳しくは、生涯学習課に聞いてみてね。

恵那暮らしビジネスサポートセンター だより

出会って、聞いて、ピッタリの仕事を見つけよう!

恵那合同企業説明会 2024

入場 無料 入退場 自由 服装 自由

日時 3月8日(金) 午後1時~4時 (受け付けは午後0時半から)

場所 市民会館

対象 学生(高校生以下は除く) 既卒者 パート希望者 転職活動中の方 一般求職者 シニア求職者(60歳以上の方)

出展企業 地元企業 50社

主催 市雇用対策協議会、ハローワーク恵那

企業見学の予約ができる! インターンシップ先を見つけられる!



スタンプラリーでもらえる! 5カ所のブース訪問でスターバックスeGift 500円分プレゼント



地元優良企業が多数参加!

「まだ何も決まっていな...」「行きたいブースが決まっていな...」そんな方でも大丈夫。スタッフが話を伺い、希望に合ったブースを案内します。気軽に参加ください。

参加企業など詳しくは、ジョブナビ恵那で確認ください



恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町206-5 26-2266 info@enalifebizsupport.jp 営業日 月~土曜日(午前9時~午後5時) 定休日 日曜日、祝日、年末年始



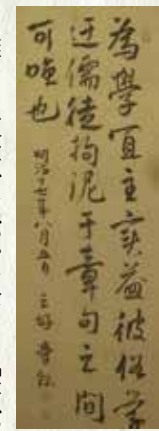
物知り先生のふるさと情報 (三好学博士顕彰誌)

「孤高の植物学者」三宅勝義さん(東野) 第十一話 空論より実学 第四の功績「情熱的な教育者」

「嬌木枯根」、正式な読み方は分かりませんが、「きょうぼくここん」と読むのでしょうか。意味は、無理に枝葉を矯正しすぎると根っこが枯れてしまうことだと推測されます。

教育者の三好学は、「嬌木枯根」という文言を使い、教師が強制しすぎると生徒の意欲がそがれることを授業日誌の中に記しています。この日誌は、日々の授業の実践記録で、学が明治十二、十三年に書き遺したものです。当時、個別指導が主だった授業方法を集団指導に替え、しかも「教え込む」ことが主流の時代に、教師が喋り過ぎることをきつく戒めています。現在も、教師の出過ぎる授業は生徒の意欲をそぐといわれています。学校教育が始まって10年にもならないこの時期に、学は既にそのことを指摘しているのです。

授業日誌以外にも、「生理小学」という理科の教科書や「土岐郡史略」と題した地理の教科書、「小学校修身読本」という修身の教科書を執筆し授業に役立てるなど、教育に対し



て情熱的で意欲的、革新的でした。「桜の博士」「近代植物学の開祖」「自然保護の先駆者」に加え、三好学の四つ目の功績として、「情熱的な教育者」という呼び名も忘れてはいけません。ところで、このような偉大な功績を生み出す源は何なのか。信念とは一体何なのか。おそらくその一つは、学の学問への姿勢に見ることができると思います。学が東京帝国大学の予備門を終えて研究の専門を決める時、次のような文章を遺しています。